

# NEWS RELEASE

No.24-1

2024年4月10日

## 公益財団法人 損害保険事業総合研究所

### 2023年度ベーシック講座の成績優秀者を表彰

2023年度のベーシック講座は、昨年6月21日に開講式からスタートし、通信科目5科目、スクーリング、そして講座修了レポートの3つのカリキュラムで学習が行われました。修了認定は3月下旬に行われ、受講登録者数82名中75名が修了しました。修了者のうち上位3名が成績優秀賞として表彰されました（成績優秀者氏名は後述）。

本講座は、保険の基本的な理論、法律・制度、損害保険市場の変遷などを体系的に学ぶ講座です。知識のインプットだけでなく、レポート作成や受講生同士のディスカッションといったアウトプットの場を設けることで、より深い学習を目指しています。

2023年度は、オンライン開講式を導入し、昨年度の受講生からの応援メッセージや特別講義（「損保業界の変遷と今後の課題」（日本損害保険協会 常務理事・坂本仁一氏）、そして講義終了後には特別講義についてのグループディスカッションを実施しました。これらの取組みは、学習の動機づけと約7か月にわたる通信講座のモチベーションを維持する狙いがありましたが、ベーシック講座の終了後のアンケートにも、開講式に関するコメントがあり、一定の学習効果の向上につながったと考えます。

通信5科目のカリキュラムは、Web講義の視聴、Webテスト、そしてレポート作成で構成されています。特に自分の言葉で意見をまとめるレポート課題は、Webテストに比べると難易度がかなり高くなる一方で、課題をやり遂げた受講生からは、「レポートの作成が大変勉強になった」「自信につながった」といった評価の高いコメントが寄せられています。

スクーリングでは特別講義「損保業界が変革するために必要なD&I」（損害保険ジャパン株式会社 執行役員 CDO・村上明子氏）、ワークショップ「DX時代におけるオンラインコミュニケーション講座」（名案企画株式会社 代表取締役・土川尚己氏）を実施しました。

ベーシック講座全体について受講者からは、以下のような感想が寄せられています。

- ・ 損保会社で働いていながら、基本的な保険論や成り立ちを理解しておらず、受講は基本を学習する良いきっかけとなった。保険法や保険約款について、だれのためにある保険でどういう趣旨なのかの理解を深めることができました。
- ・ 1年間を通して、改めて損害保険の知識を学べて大変勉強になりました。「学び」を続けることを止めてはいけないというメッセージは大変胸に響きました。
- ・ 講義ビデオや確認テストなどで、損保の基礎知識を得ることができただけでなく、オンライン・ディスカッションでの他社の受講生との対話を通じて、様々な意見や知識を知ることができた点が、非常に良かったと感じる。
- ・ レポートの作成で、インプットした知識をアウトプットするためには、内容をより理解し自分の中で昇華させる必要がある。何度も読み返し、よくわからないところは、ウェブで講師の動画を再視聴し課題に取り組んだ。点を取れば合格というテスト形式のものに比べると、生みの苦しみはあるが、それだけに課題についてより深く考えることができた。

【2023年度ベーシック講座 成績優秀者：3名】（順不同敬称略）

会社名	氏名
アイペット損害保険株式会社	舩谷泉帆
共栄火災海上保険株式会社	篠原唯
明治安田損害保険株式会社	松尾美雪

【2023年度ベーシック講座カリキュラム】

	開催／開講日	実施期限
オンライン開講式	6月21日	
第1回：保険総論	7月1日	8月5日
第2回：保険約款と保険法	8月1日	9月5日
第3回：保険業法と募集制度	9月1日	10月5日
第4回：損害保険市場とマーケット変化への対応	10月3日	11月7日
第5回：損害保険経営の基礎	11月1日	12月5日
講座修了レポート	12月1日	1月15日
オンラインスクーリング	2月8日	